

# 小学3年 社会科「店ではたらくひと」

柏市立高田小学校 森下 真大

## 1. 単元目標

- 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、必要な情報を集め、読みとり、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。(知識及び技能)
- 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。(思考力・判断力・表現力等)
- 地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、ふり返ったりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

## 2. 情報活用能力育成をめざす単元づくり(全12時間扱い)

### (1) 単元について

児童にとっても一番買い物をする機会の多いスーパーマーケットを対象に、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにする。

### (2) 学習計画

	時	学習内容	留意点
<b>1 課題の設定</b>	①	○どのような店で買い物をしているかを考え、学習問題をつくる。	・家族にインタビューすることを伝える。
<b>2 情報の収集</b>	②	○家の人がよく行く店を調査し、スーパーマーケットに買い物に行く人が多い理由を考える。	・Forms を活用してデータを集計し、身近なデータで考えさせる。
<b>3 整理・分析</b>	③	○オンライン質問会の前に、質問したい内容を考える。	・事前に教師がバックヤードの動画を撮影し、実際の様子を見せる。動画をもとに、質問したいことを考えさせる。
	④	○売場は、どのようになっているかオンラインで質問する。	・事前に質問内容を集約し、質問者を決めておく。
<b>4 まとめ・表現</b>	⑤	○グループで相談し、担当する記事を決める	・教科書の内容も組みこまれるよう、観点を提示する。
	⑥	○ワークシートにどのようなレイアウトにするか書く。	・文章の内容ではなく、大まかなレイアウトを考えさせる。
	⑦⑧	○タブレットの「コラボノートEX」に実際に書いていく。	・文字入力が難しい児童に、入力方法の選択ができるようにする。実態に合わせてローマ字表を渡す。
	⑨⑩		
	⑪		
	本時		

児童の実態によってはなくてもよかった。

5 振り返り・改善	⑫	○アドバイスをもとに修正をし、完成させる。 スーパーに飾ってもらう準備をする。	・アドバイスをもとに、部分的な修正を行わせる。
-----------	---	--	-------------------------

### 3. 本時について（本時 1 1 / 1 2 時間）

#### （1）本時の目標

相手に学んだことを伝えるために、よりよくするための方法を考えることができる。

（思考力・判断力・表現力等）

#### （2）本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 10分	1 自分たちの新聞の出来ばえを問う。	●【タブレット】 前時までのよくできている新聞を全体に提示する。
展開 ① 15分	<div data-bbox="347 779 1232 855" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>④ 自分たちの新聞をよりよくするにはどうすればよいだろうか。</p> </div> <p>2 予想をたてる。 C：他のグループの新聞を見る。 C：だれかにみてもらう。</p> <p>3 比較をする機能を紹介する。 スクリーンに映し、一斉に指導する。</p> 	●【タブレット】 コメント機能を紹介し、色によって分類することを理解させる。
展開 ② 15分	4 兄弟グループに対してコメントを書く。 コメント機能→赤…良いポイント 青…改善点	●文字入力には個人差があるため、キーボード入力や手入力などの選択肢を提示する。また、希望があればローマ字表を渡していく。
展開 ③ 15分	5 次回の課題を見つける。 ①自分でコメントを確認する ②グループで集まり確認し合う	<div data-bbox="909 1422 1436 1668" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【話し合いの理想の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人の工夫</li> <li>・売るための工夫</li> <li>・売る以外の工夫 など</li> </ul> </div> <p>●【タブレット端末】 コメントを確認し、自分たちの次の課題を明確にさせる。</p>
終末 5分	6 まとめをする。	●学習をまとめ、次時の課題へつなげる

	㊦ 自分たちの新聞をよりよくするには.....。
7 振り返り 8 次回の予告 アドバイスを基に修正をし，完成させる。 スーパーマーケットに飾ってもらう準備をする。	

### (3) 情報活用能力のプロセスと育成を図るポイント

課題の 設定	情報の 収集	○	整理・分析	◎	まとめ 表現	○	振り返り 改善
-----------	-----------	---	-------	---	-----------	---	------------

#### ○情報収集のポイント

- ①Forms を活用しそれぞれのご家庭に「よく買い物をする場所」のアンケートをとる。
- ②スーパーマーケットの店長さんとオンラインで質問会をする。

#### ○整理・分析のポイント

- ①タブレットを使うことで文字を書くことや絵を書くことが苦手な児童にとっても簡単に制作することができる。
- ②タブレットで他のグループと比較検討を行うことにより，紙媒体よりも簡易的に行え，児童一人一人が参加しやすい環境にしていく。

#### ○まとめ・表現のポイント

パソコン上で制作することで，アナログなものよりも完成された物が作れる。さらに，スーパーマーケットに飾ってもらうということで，より意欲的に，良い物を作りたいという気持ちを持たせていく。

## 実践を終えて

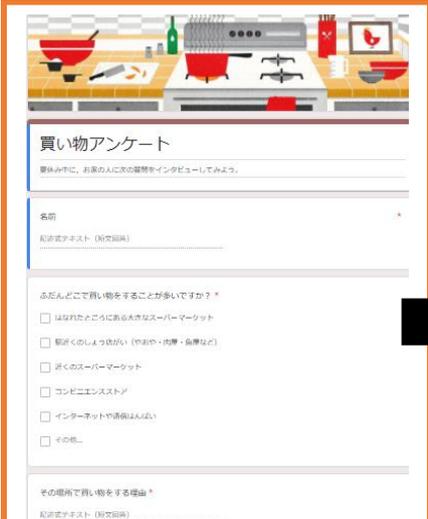
### 成果

- ・3年生でも「コラボノート EX」を活用することができるということがわかった。
- ・手書きの時よりも事前に機能や説明の時間はかかったが，比較的時間をかけずに作成ができた。
- ・オンラインで協働作業ができることで，家庭学習の児童も家にいながら一緒に進めることができた。
- ・自分の画面で他のグループと比較検討ができる。
- ・既存のアプリなので新たにアプリ等のアップロードの必要がない。

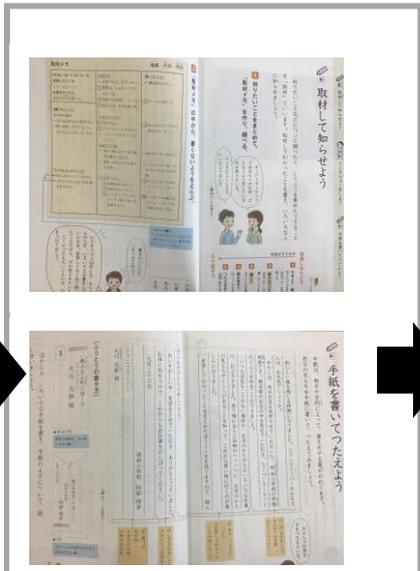
### 留意点

- ・学習時間内のみ，児童がコラボノートを使用できるようにする。
- ・記事の内容を決めるところ，比較検討するときの視点がこの単元でのポイント。  
 記事の内容→教科書の内容をどこまで盛りこむか。  
 比較検討の視点→国語的な内容や見た目だけの視点にならないようにする。

#### 4. 授業の流れ



①Formsでの保護者へのアンケート



③国語とのカリキュラムマネジメント



②オンラインでのスーパーマーケット見学



④グループごと新聞作り



⑤コメント機能での比較検討(本時)



⑥完成した新聞

## 5. コラボノート EX について



## 6. コラボノートでできること

